

# 巻頭言



岡山県知事 伊原木 隆太

## 国際交流の推進と グローバル人材の育成に向けて

岡山県は、南は瀬戸内海に面し、北は中国山地に抱かれた、豊かな自然と「晴れの国」と呼ばれる温暖で過ごしやすい気候に恵まれた暮らしやすく魅力ある地域です。歴史的には、奈良時代に吉備真備が遣唐使として大陸に渡り、江戸時代には朝鮮通信使が備前国の牛窓の地に訪れるなど、古くから国際交流が盛んに行われてきました。

現在も、中国の江西省、オーストラリアの南オーストラリア州、インドのマハーラーシュトラ州プネ市およびピンプリ・チンチワッド市、韓国の慶尚南道の友好交流提携先をはじめ、本県からの移住者が多い南米諸国との交流を促進し、友好交流の充実や相互の発展を目指した協力関係の構築を図っています。

特に、2025年は、ブラジルへの岡山県人移住115周年にあたることから、現地で開催される記念式典に県内大学生を派遣するとともに、南米県人会の若手会員を県に招聘（しょうへい）し交流を行う記念事業を実施します。また、中国・江西省や韓国・慶尚南道との間では、高校生の相互訪問事業を実施しており、こうした若い世代間での交流事業により、将来に向け、友好の絆を強化させていきたいと考えております。

近年、グローバル化の進展により、異なる言語や価値観をもった人と協働して物事を成し遂げる能力が求められていることから、豊かな語学力や異文化に対する理解を有するとともに、他者と協働しながら新たな価値や行動を生み出すことのできる人材を育成する必要があります。

そこで、本県では2025年度から新たにスタートした「第4次晴れの国おかやま生き生きプラン」において「グローバル人材育成プログラム」を戦略プログラムの一つに掲げ、ALT（外国語指導助手）やICTなどを活用し、小・中・高等学校における英語4技能5領域を総合的に育成することを意識した英語教育の充実を図ります。

また、県内学生に留学への关心や意欲を高めるため、海外経験を有した著名人による講演や海外大学などと相談ができる「留学促進フェア」を開催するとともに、産学官が連携して留学にチャレンジする学生を支援する独自の奨学金制度などにより、引き続き、国際的に活躍できる人材の育成を図っていきます。

コロナ禍に激減した海外への留学者数は、近年回復基調にあり、引き続き、グローバル化が進展していくことが予想されます。こうした新しい時代の要請に応えるため、国際交流はもとより、視野を広く持ち、世界で活躍することのできるグローバル人材育成など、国際化に向けた取り組みを進めてまいります。